

## 令和2年度 第2回ふるさと館運営協議会議事録

日 時：令和3年3月16日（木）午後3時00分～4時00分

場 所：飯山市ふるさと館 体験室

出席者：千坂経悦、望月 武、村松直昭、清水重男、田中好次委員

長瀬教育長、桑原文化振興部長、事務局3名

進行：鈴木係長

### 1 開 会

（係 長）令和2年度、第2回運営協議会を開会します。

### 2 あいさつ

（会 長）コロナ禍のなかだからこそ、新しいものが見えてきている気がする。学校現場もリモートやタブレットの活用など始まっているが、逆に「実物に触れる機会」が見直されている。4/10に県に新しく県立美術館が開館する。その流れに乗って、ふるさと館ももっと情報発信を行ってほしい。

（教育長）学校の統合が近づくなか、ふるさと館の役割はますます重要になっていく。小さな施設ではあるが、新しい役割も生まれてきているので、ますます発信・発展していってほしい。

### 3 協議事項（進行：会長）

① 令和2年度事業報告について

（事務局）資料に基づき説明

（会 長）質問等ありますか。

（教育長）受領資料の「出征軍馬旗」はどこから受領したものか。

（事務局）屋敷集落です。

（会 長）屋敷集落はまだあるのか。

（事務局）もうない。最後の区長宅からの寄贈。

（教育長）薬箪笥から？

（事務局）箪笥から段ボールに移してあった様子。古文書資料とこのような民俗資料を受領した。

（会 長）「座頭関係資料」も屋敷？

（事務局）こちらは、戸狩の個人宅から。

（会 長）どういった内容なのか？

（事務局）いくつか頂いているのだが、この写真のものは、歌の目録、認可状のような類のもの。

(教育長) 視覚障碍者を指していると。

(事務局) そうですね。

(教育長) 視覚障碍者の屋敷が一ノ口かどこかにあったと思うが、そことは何か関係が？

(事務局) ないと思われる。こちらは、常盤の「常盤一（または市）」という名前で活動されていた方の資料です。

(会長) 一年を振り返って何かご意見ないですか。

(会長) 入館者数、今年度落ちてるのかと思ったら、そうでもないですね。

(事務局) 昨年と比較すると、昨年が台風等の影響で非常に少なかったせいもあり、非常な落ち込みというのはなかった。様々な施設等がイベントを自粛する中、ふるさと館はコロナ対策をとりながら、なるべく事業を開催する方向だったことも大きいと思う。

(会長) 他には？

(教育長) この度信毎に載った「伊藤博文の手紙」を、どこかで一度展示したらどうか。

(事務局) 一昨年の水損資料なので、そういう関係でいつか紹介できればと思っていた。

(委員) 本物なんですか？

(教育長) 京都大学の先生によると本物だと。

(委員) 見つかってよかったです。

(教育長) 一般公開すれば、大勢見に来ると思う。

(事務局) 被災ごみだったということもあり、所有者が実はわからない。

(教育長) 公開を機に所有者がわかれればいい。わかつたら、所有者に返却できる。

## ② 令和3年度事業計画について

(事務局) 資料に基づき説明

(会長) 質問等ありますか。

(教育長) 7月10日に丸山邦男像の除幕式がある。それに合わせて何か展示はどうか？

(事務局) ちょうど7月は「青少年義勇軍」を紹介する企画展を行う予定。こちら、県立歴史館と同時期開催ということでの企画。

(教育長) その際に「丸山邦男展」も併せないと除幕式と合わせられない（検討を）。

(会長) 事業計画について他に何かご意見は？

(教育長) 文化庁の「文化財保存活用計画」の策定をすすめるのはどうか。やるとなるとここにおられる皆さんに協力していただくことになるかと。項目としてあげておいてもいいのでは？

(事務局) 検討していきたい。

(会長) 次回の運営協議会はいつか。

(事務局) 一応6月を予定している。

(会長) 秋の企画展「斑尾山東山麓の歴史と文化」はどんな内容か?

(事務局) 栗岩英司がかつて言っていた東山道の枝道があつたり、遺跡もあるようなので受領の資料も含め紹介したい。

(会長) 現地視察はある?

(事務局) 今のところ計画はないが、検討したい。

(事務局) 前回の協議会が書面開催だったので、fax等で委員の皆様より頂いたご意見を資料の末尾に添付させて頂いた。貴重なご意見として参考にさせていただき、取り組んでいきたい。

#### 4 その他

#### 5 閉会

(係長) それでは、これで第2回運営協議会を閉会します。本日はお忙しい中ありがとうございました。